アルビクス　映像・音声エラー検出装置　VAD－660 rev1.0

特　　長

◇映像・音声のエラー検知状態を LAN インタフェースにてパソコン等へ通知します。
◇1台で6系統の映像・音声信号（L, R）のエラーを監視可能です。
◇映像は単画面の他、ウィンドウのある分割画面監視も可能です。
◇モニター出力映像へ音声レベルバー、映像・音声のエラー検知状態を表示する事が可能です。
◇モニター出力をマルチビューワ“CV－061”へ入力する事で、1画面で同時に6チャンネルを表示可能です。
◇CV－061と連動させる事により、エラー検知中はCV－061の該当チャンネルの枠色を自動で切り替えることが可能です。

仕　　様

◆映像入力信号
　入力信号数　：6系統
　信号形式　：NTSC、アナログVBS
　接栓　：BNCコネクタ
◆音声入力信号
　入力信号数　：6系統
　信号形式　：アンバランスステレオL, R
　接栓　：RCAコネクタ
◆モニタアウト
　出力信号数　：6系統
　信号形式　：NTSC、アナログVBS
　接栓　：BNCコネクタ
◆外部通知
　通信仕様　：100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
　プロトコル　：TCP／IPソケット（VAD－800互換）
　コネクタ　：RJ－45モジュラ
◆外部制御（※CV－061と連動させる場合のみ使用します）
　通信方式　：RS－232C
　通信速度　：9600bps
　スタートビット　：1bit
　データ長　：8bit
　パリティ　：none
　ストップビット　：1bit

◆画像エラー検知項目
各エラー項目は、エラー状態を通知するまでのマスク時間を個別に指定することが可能です。

・同期断エラー
　映像信号の入力が無い状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。
・ブルーエラー
　映像がブルーの状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。
・ブラックアウトエラー（ベース／ウィンドウ）
　映像がブラックアウトした状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。
　エラー通知までのマスク時間はベースとウィンドウで個別に指定することが可能です。
・フリーズエラー（ベース／ウィンドウ）
　映像がフリーズした状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。
　エラー通知までのマスク時間はベースとウィンドウで個別に指定することが可能です。

【型番】		【整理番号】
VAD－660	アルビクス株式会社	

◆音声エラー検知項目

・音声レベルエラー

オーディオ信号のピーク値を測定し、レベル異常の状態が指定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。

エラー検知設定項目

レベルLOWER（－50dB～0dB）

レベルUPPER（－50dB～0dB）

・無音エラー

オーディオ信号のピーク値を測定し、－40dB以下の状態が指定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。

・逆相エラー

オーディオ信号の逆相状態が指定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。

・1KHz検知

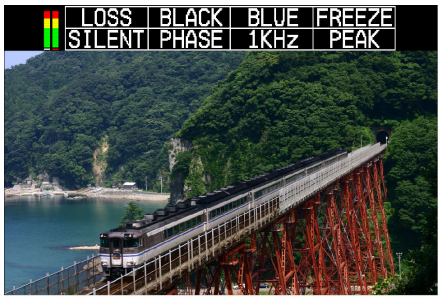
オーディオ信号が1KHzの状態が指定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。

モニタ表示イメージ

◆モニター出力映像

レターボックス表示の映像信号を入力し、モニター出力の映像を表示した例です。

モニター出力の設定で監視映像のV方向をオフセットする事が可能なため、監視映像とエラー検知状態を重ならないように表示できます。



◆CV－061を使用した場合

VAD－660のモニター出力をCV－061へ入力し、D3入力対応のモニターで表示した例です。

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

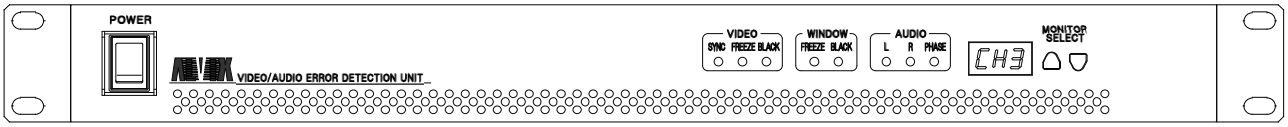
【型番】		【整理番号】
VAD－660	アルビクス株式会社	

◆外形寸法　　:W430 × H44 × D250 mm
◆重量　　:約 3. 5kg
◆電源電圧　　:100V±10% AC 50／60Hz
◆消費電力　　:約 18W
◆使用温度　　:5℃ ～ 40℃

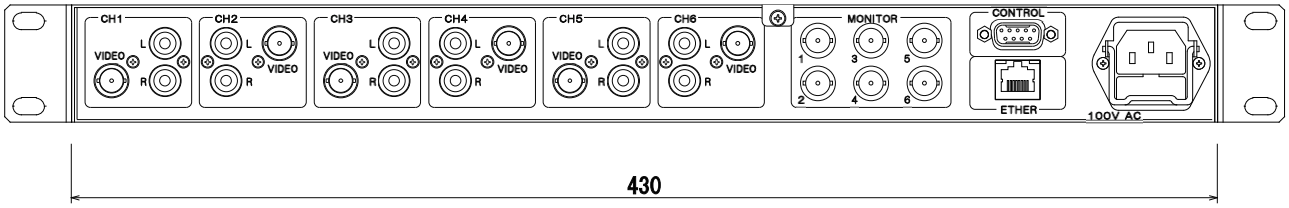
外 観 図

単位:mm

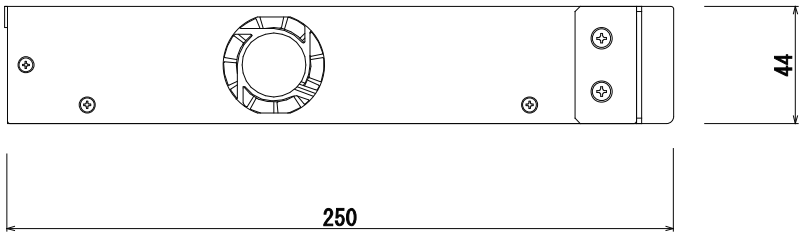
前面



背面



側面



仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【型番】		【整理番号】
VAD－660	アルビクス株式会社	